2026年度　ブラックスタート機能（2031年度向け）公募　RFC意見

番号	該当箇所 (例：要綱〇章１（１）■■)	意見	回答
1	要綱　（Ｐ10～12） ４．入札単位および募集規模	募集規模について、「募集を廃止する場合には、募集の終了を決定した時点（系統対策工事計画の立案等）以降、募集要綱へ最終公募年度を記載すること等により通知させて頂きます。」との記載が追加されましたが、水力発電設備の更新にあたり、中長期的なBS機能の必要性は投資判断に大きく影響を及ぼすため、将来的な系統対策工事計画とブラックスタート機能の募集継続見通しについて、可能な範囲で方向性を公表いただけないでしょうか。 上記の通知について、後述の募集廃止以降も発生する費用の取り扱いも踏まえると、最終公募年度の通知後、少なくとも1回は対象系統における公募が実施されるものと受け止めておりますが、系統対策工事計画の立案等のタイミングによって通知と同時に募集が終了となることは無い、と認識して問題ないでしょうか。	ブラックスタート機能の募集継続見通しは、供給区域における電源構成や系統構成、流通設備の整備計画等を踏まえ、対象系統ごとに必要性を評価したうえで判断していることから、現時点で将来の募集継続有無や募集規模についてお示しできる段階にはありません。 なお、募集の廃止を検討する場合には、事業者さまによる設備投資や設備更新の検討に一定の期間を要することも踏まえ、募集要項に記載のとおり、募集の終了を決定した時点以降、募集要綱への最終公募年度の記載等によりお知らせすることとしております。 また、最終公募年度の通知は、募集終了に向けた周知を目的として行うものであり、通知と同時に募集を終了することは原則として想定しておりません。従って、最終公募年度をお知らせした場合には、その年度の公募は実施されることを前提としております。 ただし、今後の制度変更や電力系統を取り巻く状況の変化等により、対応内容を変更する必要が生じた場合には、適切にお知らせいたします。
2	要綱　（Ｐ１６） ７．入札価格 (1) 入札価格	今回から、入札価格の算定にあたり契約電源等を維持するために要する年間費用として、「対象系統における募集の廃止が公表されている場合には、BS機能・設備のうち、募集廃止以降も発生する費用を含みます。」との記載が追加されましたが、募集廃止以降も発生する費用として認められる対象費用の考え方および具体例をご教示いただけないでしょうか。	BS機能の維持に必要な費用のうち、募集が継続していれば将来の入札価格に含まれる予定であったものの、募集廃止等により未回収となることが見込まれる費用を年間費用の一部として入札価格へ計上いただくことを想定しております。 なお、対象となる費用は公募終了後に他市場や他契約等で回収されない費用である必要があります。 ＜例＞ BS機能専用設備に係る費用の未回収分
3	提出様式 発電設備の運転実績（ｐ１７）	本文の「2054年度」は2025年度の誤記と思われます。また、表中の運転年数、総発電電力量、設備利用率の「2023年度」については同様に2025年度実績になるものと認識して問題ないでしょうか。	誤植です。 本文は2025年度に修正します。 表中表記も2025年度に修正します。